

カーマホームセンター豊川東店

大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

1 概要

カーマホームセンター豊川東店の増床及び開店時刻及び閉店時刻の変更を行う(附則第5条第1項)

2 店舗の概要

届出事項		変更前	変更後
店舗	店舗名称	カーマホームセンター豊川東店	
	店舗所在地	愛知県豊川市金屋町77番1	
設置者	名称	株式会社ナカオ	
	代表者	代表取締役 中尾 敬三	
	住所	愛知県蒲郡市栄町10番2号	
	備考	なし	
小売業者	名称	株式会社カーマ	変更前に同じ
	代表者	代表取締役 久田宗弘	変更前に同じ
	住所	愛知県刈谷市日高町三丁目411番地	変更前に同じ
	備考	なし	変更前に同じ
店舗面積		4,712 m ²	6,231 m ²

業態	住・生活関連品専門店		
用途地域	近隣商業地域	-	-
参考			

3 届出の概要

届出年月日	平成19年3月28日
変更する日	平成19年11月29日

届出事項		変更前	変更後
施設の配置	駐車場	位置	別紙図面のとおりに
		台数	255 台
	駐輪場	位置	別紙図面のとおりに
		台数	20 台
	荷捌施設	位置	別紙図面のとおりに
		面積	273 m ²
廃棄物保管施設	位置	別紙図面のとおりに	
	容量	23.5 m ³	
施設の運営	営業時間	開店	午前10時00分
		閉店	午後8時00分
	駐車場利用時間帯	午前9時30分～午後8時30分	午前8時30分～午後10時00分
	駐車場出入口	数	2箇所
		位置	別紙図面のとおりに
	荷捌時間帯	午前6時00分～午後10時00分	同

カーマホームセンター豊川東店

4 基本的配慮事項

配慮事項	記述事項
(1) まちづくり計画の検討	都市計画及び中心市街地活性化基本計画等について情報収集し、検討する
(2) 深夜営業の対応	深夜営業は行わない
(3) 住民説明会の開催	地域住民等の理解が十分得られるよう説明・周知
(4) テナントの履行確保	設置者の責任において履行確保
(5) 責任者の任命	店長を責任者として任命
(6) 予測乖離時の措置	再調査・再対策を検討の上、必要措置を実施
(7) 通年の臨時措置	年末年始は交通整理員を配置
(8) 開店時の臨時措置	交通整理員を配置

5 施設の配置及び運営方法関連事項

1 駐車需要の充足・周辺地域の利便確保のための配慮

(1) 交通に係る事項

ア 駐車場の必要台数の確保

(ア) 指針による算出

変更前

行政人口	店舗面積	日來客数 原単位 (人/千㎡)	ピーク率	駅からの距離 (商業系地域の 場合)	自動車分担率	平均乗車人員	平均駐車 時間係数	指針必要台数
138,301人	4,712 ㎡	958.6	14.40%	350 m	60.00%	2.00 人	0.93	182 台

変更後

行政人口	店舗面積	日來客数 原単位 (人/千㎡)	ピーク率	駅からの距離 (商業系地域の 場合)	自動車分担率	平均乗車人員	平均駐車 時間係数	指針必要台数
138,301人	6,231 ㎡	950	14.40%	350 m	60.00%	2.00 人	1.07	274 台

変更後必要駐車台数

変更前駐車 台数	増床分必 要台数	増床後必 要台数
255台	92台	347台

総駐車台数	-	従業員等駐車台数	-	付帯施設駐車台数	-	業務用駐車台数	=	来客用駐車台数	評価
303 台		25 台		0 台		0 台		278 台	

(イ) 指針によらない「特別な事情」による算出

既存店実績調査から、増床後の当該店舗駐車場の従業員車両を含む最大滞留台数は200台と予測されるため、駐車場は足りると考えられる。

イ 駐車場の位置及び構造等

1平面自走オレター:無	2平面自走オレター:有	3機械式駐車場	共用駐車場数	ピーク1hの来台車数
2箇所	0箇所	0箇所	0箇所	256 台

(ア) 駐車場形式・出入口数・位置・駐車待スペース・分散確保・交通整理

敷地内 駐車場	種別	1	収容台数	278 台	歩行者動線	非分離	騒音配慮	営業時間外の駐車場閉鎖	排ガス配慮	不必要なアイドリング・クラクション・空缶から防止等表示板の設置		
	出入口数	道路種別	道路幅員	歩道	交差点距離	駐車待スペース	予測来台車数	道路形態	入庫方法	整理員	判定	
東	1箇所	市町村道	6m	なし	48m	8m	36	双方向	右左折混合	あり		
西	1箇所	市町村道	16m	あり	76m	18m	220	双方向	右左折混合	あり		
南	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
北	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
交通整理員等の配置 土曜日・日曜日・祝祭日・イベント・セール時のみ配備												

評価	駐車場出入口の数・位置	駐車待スペース	駐車場の分散確保	出入口における交通整理

ウ 周辺交通状況の把握

交通量調査	来客車両等の方向別予測	店舗周辺状況調査	交通流動の予測
実施	実施	実施	実施（交通飽和度等の検討）

カーマホームセンター豊川東店

エ 駐輪場等の確保等

駐輪場の位置及び箇所数	店舗南、西側にそれぞれ一箇所
駐輪場の収容台数	50台
標準収容台数	179台

自動二輪車等駐車場の確保	確保	収容台数	-
位置及び箇所	自動二輪等の駐車場は駐輪場と兼ねる。		

平成18年3月5日(日)の7:00～21:00の間の各時間帯の最大駐輪台数の調査を行ったところ、ピークは14時の33台であった。この結果を基に増床後の必要駐輪台数を算出(33台×(6,231㎡/4,712㎡))した結果は44台である。したがって変更後の駐輪場の台数は50台であり、必要駐輪台数を満たしているといえる。

位置評価	台数評価

オ 荷捌施設の整備等

(ア) 荷捌施設の整備

停車位置	専用出入口・通路	面積	営業時間外の搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	混在	273㎡	あり	20分	2台	3台	

(イ) 計画的な搬入

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
9:00～10:00	3台	14:00～15:00	21:00～22:00	なし	なし	

カ 経路の設定等

(ア) 車両関係

a 来客車関係

案内表示	交通整理員の配置	生活道路の回避	通学路の回避	療養施設等の回避	右折経路
あり	配置	非回避	非回避	非回避	あり

b 搬出入車両関係

通学路との交錯	登下校時間の運行	登下校時間の交通整理員
なし	-	-

対応

c バス・タクシー等交通機関関係

駐車場の確保
バス・タクシー等の停留所なし

d 地方公共団体・公共交通事業者の事業関係

パークアンドライド事業等への協力
事業なし

評価

(イ) 歩行者通行関係

通り抜け可能通路の保持	通行妨害施設	閉店後の夜間照明の設置
必要なし	なし	必要なし

評価

(ウ) 廃棄物・リサイクル関係

廃棄物減量化計画	リサイクル活動推進計画
実施	実施

評価

(エ) 防災・防犯対策への協力

a 防災への協力

非難場所の提供	物資の緊急提供
締結可能	締結可能

b 防犯への協力(深夜営業を行う場合)

夜間照明の配置	警備員等の巡回
配慮あり	なし

評価

2 生活環境悪化防止関係

(1) 騒音発生に係る事項

ア 騒音問題対応策

(ア) 一般的対策

	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
東方向	90 m	なし	設備機器・来客車両・荷捌き施設	なし	なし	-
西方向	46 m	19 m	設備機器・来客車両	なし	なし	-
南方向	23 m	17 m	来客車両	なし	なし	-
北方向	2 m	2 m	設備機器	なし	なし	-

遮音壁の悪影響	-
---------	---

カーマホームセンター豊川東店

(イ) 荷捌・営業活動の騒音対策

早朝・深夜荷捌きの有無	あり
荷捌施設・施設面での配慮	荷さばき施設を将来住居等が立地する可能性が少ない建物東側に配置
荷捌施設・運営面での配慮	アイリングストップ、時間調整による搬入待機車削減
荷捌施設・機器面での配慮	低騒音型機器の導入、作業員の意識徹底
放送設備使用面での配慮	屋外放送なし

(ウ) 付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

冷却塔、室外機からの騒音配慮	低騒音型機器の導入
給排気口からの騒音配慮	低騒音型機器の導入
駐車場からの騒音配慮	不必要なアイドリング・クラクション・空ぶかし防止等表示板の設置
廃棄物収集作業に伴う騒音配慮	作業・回収時間の制限(早朝・深夜は作業禁止)
経年劣化等の事後対策	機器周辺の防音措置の強化、機器の配置の見直し・更新

イ 騒音の予測評価

予測対象騒音	定常騒音	空調機室外機 42	冷却塔	給排気口 66	変電施設	浄化槽	ポンプ	エンジン等
	変動騒音	冷凍機室外機	冷凍機械室	キュービクル 1				
		ゴミ収集作業	BGM	アナウンス				
	衝撃騒音	自動車走行	荷捌 アイリング	後進警報 ブザー				
		荷降り音	台車走行					
建物の構造(高さ)		鉄骨造平屋塔屋1階建						

(ア) 等価騒音レベル予測

		A点	B点	C点	D点	E点	F点
用途地域		近隣商業地域	近隣商業地域	近隣商業地域	近隣商業地域	近隣商業地域	近隣商業地域
昼間基準値		60 dB	60 dB	60 dB	60 dB	60 dB	60 dB
夜間基準値		50 dB	50 dB	50 dB	50 dB	50 dB	50 dB
設置者	昼間等価騒音レベル	45.3 dB	48.1 dB	47.4 dB	46.6 dB	51.3 dB	53.5 dB
	評価						
県	夜間等価騒音レベル	16.4 dB	21.0 dB	10dB以下	10dB以下	12.2 dB	10dB以下
	評価						
県	昼間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当	妥当	妥当
	夜間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当	妥当	妥当

基準値を超えた場合の対応等

--

(イ) 夜間における騒音ごとの予測

A 商工系地域で周囲50m以内に学校、保育所、病院、患者収容施設を有する診療所、図書館、特別養護老人ホームの有無				無
B 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有するか否か				
上記A・Bの具体的内容				-
		a(1.5m)	a(4.5m)	
用途地域		近隣商業地域	近隣商業地域	
基準値を5dB減する要因		なし	なし	
基準値		50dB	50dB	
設置者	定常騒音の騒音レベル	17.1dB	19dB	
	評価			
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	-	-	
県	定常騒音の騒音レベル検証	妥当	妥当	
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	妥当	妥当	
	評価			

基準値を超えた場合の対応等

--

カーマホームセンター豊川東店

(2) 廃棄物関係

ア 廃棄物等の保管について

悪臭問題関係配慮	悪臭を発生させる廃棄物は少ないと想定しているが、収集作業はできるかぎり扉の開閉を少なくし、悪臭が屋外へ漏れることを防ぐ。
衛生問題関係配慮	特になし

取扱品目	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	指針容量	見かけ比重の変更	判定
紙廃棄物用	12.60 m ³	1日	0.208 t	0.10 t/m ³	2.08 m ³	変更なし	
金属製廃棄物用	0.90 m ³	2日	0.007 t	0.10 t/m ³	0.14 m ³	変更なし	
ガラス製廃棄物用	0.80 m ³	2日	0.006 t	0.10 t/m ³	0.12 m ³	変更なし	
プラスチック製廃棄物用	6.40 m ³	1日	0.020 t	0.02 t/m ³	1.00 m ³	変更なし	
生ごみ用	1.90 m ³	1日	0.169 t	0.55 t/m ³	0.31 m ³	変更なし	
その他可燃性廃棄物用	0.90 m ³	1日	0.054 t	0.38 t/m ³	0.14 m ³	変更なし	
合計	23.5m ³	-	-	-	3.79 m ³	-	
保管日数の設定根拠	既存の実績に基づく						
見かけ比重変更の理由	変更なし						
指針と異なる算定式の使用	変更なし						

リサイクル品保管庫の有無	あり	-
--------------	----	---

廃棄物排出量を減少させる要因		廃棄物排出量を増加させる要因	
ダンボール不使用納品の実施	なし	空缶・空き瓶の回収箱設置	あり
生ゴミ堆肥化施設の使用	なし	食品トレー・ペットボトルの回収箱設置	あり
廃棄物等圧縮機の使用	なし	食品加工場の設置	なし
脱水装置の使用	なし	物販店以外の施設との保管施設の共有	なし
その他	なし	その他	なし

位置・構造	種類・処理方法ごとの分別の実施		分別廃棄を実施
	搬出作業の利便性の確保		特になし
	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保		夜間及び早朝作業は控える
	生ゴミ保管施設の温度管理等の実施		あり
生ゴミ保管施設の密閉性の確保		あり	

イ 廃棄物等の運搬や処理について

十分な搬送頻度の確保	特になし
繁忙期の特別な措置	搬出回数を増便
運搬(予定)業者(免許番号)	(有)伊藤商事、明輝クリーナー
運搬業者・処理業者に対する情報提供	特になし
敷地内処理の配慮	すべて敷地外処理
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	なし

評価

ウ その他廃棄物関連対応策について

食品加工場併設からの悪臭防止対策	-
換気扇・排気口の設置場所への配慮	-
食品加工場等の定期的な清掃の実施	-

(3) 街づくり等への配慮

景観計画等	特になし
街並み形成に関する条例	特になし
中心市街地活性化計画	特になし
具体的対応策	特になし
街並みづくりへの協力	緑地を配置し美観に考慮すると同時に、清掃・美化に努める。
照明等の配慮	夜間の屋外照明は近隣の民家に直接当たらないよう配慮する。

評価

カーマホームセンター豊川東店

市町村の意見概要	対応
意見なし	-

住民等の意見の概要	対応
意見なし	-

県の意見案
意見なし